

船舶事故調査報告書

平成26年3月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）
委員 庄 司 邦 昭
委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成25年9月19日 17時30分ごろ～9月20日 01時18分ごろの間）
発生場所	不明（山口県山口市秋穂 ^{あゐ} の係留地から山口県防府市佐波島南岸の間）
事故調査の経過	平成25年9月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 博栄丸 ^{はくえい} 、4.86トン YG3-47154（漁船登録番号）、個人所有 10.87m (Lr) × 2.52m × 0.81m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数15、昭和56年7月16日
乗組員等に関する情報	船長 男性 76歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年7月30日 免許証交付日 平成22年4月26日 (平成27年11月28日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、平成25年9月19日17時30分ごろ、秋穂の係留地を出発し、佐波島東方沖の漁場に向かった。 本船は、佐波島灯台から真方位084° 110m付近の佐波島南岸に無人で乗り揚げているところを僚船の船長に発見され、同船長が20日01時18分ごろ海上保安庁に通報した。 巡視艇3隻、灯台見回り船1隻、航空機2機及び僚船によって船長の捜索が行われ、僚船は、22日09時20分ごろ防府市向島南岸 ^{むこう} で船長を発見した。 検視の結果、船長は溺水であり、死亡日時は、19日夜ごろ（推定）と検案された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 2 海象：潮汐 上げ潮の末期～下げ潮の初期
その他の事項	本船は、発見時、漁具が海中に投入され、機関は運転され、クラッ

	<p>子が前進の状態であった。</p> <p>船長は、発見時、救命胴衣を着用していなかった。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長の死因は、溺水であった。</p> <p>本船は、19日17時30分ごろ秋穂の係留地を出発した後、僚船の船長が、佐波島南岸において、無人で乗り揚げている本船を発見し、20日01時18分ごろ海上保安庁に通報したことから、この間において、船長が落水したものと考えられるが、落水した状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、本船が秋穂の係留地を出発した後、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止及び被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命胴衣等の着用を徹底するとともに、適切な着用を心掛けること。